



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月6日

上場会社名 株式会社ダイセル

上場取引所 東

コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎 康裕

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 事業支援本部副本部長(兼) IR広報グループリーダー (氏名) 廣川 正彦 (TEL) 03-6711-8121

半期報告書提出予定日 2025年11月10日

配当支払開始予定日 2025年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	277,119	△4.3	20,121	△36.3	20,371	△33.7	18,802	△41.3
2025年3月期中間期	289,688	6.9	31,607	18.8	30,745	0.1	32,053	7.7

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 27,898百万円(15.8%) 2025年3月期中間期 24,081百万円(△52.7%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	70.90	—
2025年3月期中間期	116.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	848,907	394,210	44.7	1,429.64
2025年3月期	813,831	375,037	44.2	1,357.77

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 379,563百万円 2025年3月期 359,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2026年3月期	—	30.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	583,000	△0.6	46,500	△23.8	47,500	△23.8	50,000	188.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	266,942,682株	2025年3月期	276,942,682株
-------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	1,446,001株	2025年3月期	11,814,115株
-------------	------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	265,212,162株	2025年3月期中間期	275,893,265株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の世界経済は、景気の持ち直しが緩やかになり、中国など一部地域において足踏みの状態となりました。また、米国の関税政策の物価や消費への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

当社グループの主要市場でも需要の回復に差がみられるものの、需要が伸長する製品については販売機会を着実に捉え販売数量を伸ばすとともに、徹底したコストダウンなどを実施してまいりました。

当中間連結会計期間の売上高は2,771億19百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益は201億21百万円(同36.3%減)、経常利益は203億71百万円(同33.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は188億2百万円(同41.3%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

[メディカル・ヘルスケア事業]

ライフサイエンス事業は、キラルカラムの販売数量は微増となったものの、為替の影響などにより、減収となりました。

ヘルスケア事業は、顧客のサプリメントの販売が好調に推移したことなどにより健康食品素材の販売数量が増加し、増収となりました。

当部門の売上高は、76億34百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は、ヘルスケア事業の販売数量増加などにより、2億8百万円(同10.1%増)となりました。

[スマート事業]

ファンクショナルプロダクツ事業は、カプロラクトン誘導体の中国における価格競争や、為替の影響などにより、減収となりました。

アドバンステクノロジー事業は、半導体材料市場の需要は堅調であるものの、顧客の生産時期が前期とずれたことなどによりレジスト材料の販売数量が減少したことや、車載向け機能フィルムの需要減少などにより、減収となりました。

当部門の売上高は、181億71百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益は、原料価格の下落などにより、4億4百万円(同87.9%増)となりました。

[セイフティ事業]

自動車エアバッグ用インフレーター(ガス発生装置)などのモビリティ事業は、中国市場での中国自動車メーカーの生産回復や、インドでの拡販などにより販売数量が増加し、増収となりました。

当部門の売上高は、497億23百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は、販売数量の増加や北米拠点の生産性改善などにより、26億63百万円(同102.8%増)となりました。

[マテリアル事業]

アセチル事業の酢酸は、主要誘導品の酢酸ビニルや高純度テレフタル酸の需要が引き続き低調である中、前期に原料(一酸化炭素)プラントのトラブルにより販売調整を実施していたことから販売数量は増加しましたが、市況の低下により、減収となりました。

アセテート・トウは、一部顧客での在庫調整の影響により販売数量が減少したことや、為替の影響などにより、減収となりました。

ケミカル事業の酢酸セルロースは、中国の補助金政策や米国の関税発動前の駆け込み需要などに伴う液晶パネル市場の一時的な回復により、ディスプレイ材料用途は横這いとなったものの、中国市場における繊維用途の需要減少などにより、減収となりました。

その他のケミカル製品は、化粧品市場の回復により1,3-ブチレングリコールの販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

当部門の売上高は、771億66百万円(前年同期比12.8%減)、営業利益は、販売数量の減少や前期からの繰越在

庫の影響、為替の影響などにより、49億74百万円(同65.3%減)となりました。

[エンジニアリングプラスチック事業]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどポリプラスチックス株式会社の事業は、ポリアセタール樹脂の産業機器向けなどの販売数量減少や為替の影響があったものの、電子材料向けなどポリアセタール樹脂以外の製品の販売数量増加や、販売価格の是正などにより、増収となりました。

水溶性高分子、包装フィルム、AS樹脂などダイセルミライズ株式会社の事業は、2024年7月から樹脂コンパウンド事業を持分法適用会社ノバセル株式会社へ移管したことにより、減収となりました。

当部門の売上高は、1,219億15百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は、減価償却費の増加や定期修繕費用の増加、為替の影響などにより、114億70百万円(同24.5%減)となりました。

[その他]

その他部門は、水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業の販売減少などにより、減収となりました。

当部門の売上高は、25億8百万円(前年同期比11.3%減)、営業利益は4億円(同16.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

総資産は、棚卸資産や有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比し350億75百万円増加し、8,489億7百万円となりました。

負債は、長期借入金等の増加により、前連結会計年度末に比し159億2百万円増加し、4,546億96百万円となりました。

また純資産は、3,942億10百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,795億63百万円となり自己資本比率は44.7%となりました。

② 当期のキャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は644億19百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は327億55百万円(前年同期は、507億45百万円の増加)となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前中間純利益261億83百万円および減価償却費204億25百万円であり、資金減少の主な内容は、法人税等の支払額152億90百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は265億30百万円(前年同期は、293億91百万円の減少)となりました。資金増加の主な内容は、投資有価証券の売却及び償還による収入58億3百万円であり、資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出354億29百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は78億35百万円(前年同期は、240億43百万円の減少)となりました。資金増加の主な内容は、長期借入れによる収入228億56百万円であり、資金減少の主な内容は、短期借入金の純増減額142億56百万円、配当金の支払額79億50百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月13日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、2025年11月6日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,142	64,684
受取手形及び売掛金	113,935	102,839
棚卸資産	177,879	185,965
その他	38,725	37,290
貸倒引当金	△56	△54
流動資産合計	395,626	390,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	90,337	96,046
機械装置及び運搬具(純額)	126,334	132,483
土地	30,814	30,846
建設仮勘定	66,181	83,291
その他(純額)	5,759	6,238
有形固定資産合計	319,426	348,907
無形固定資産		
のれん	66	57
その他	10,574	10,815
無形固定資産合計	10,641	10,872
投資その他の資産		
投資有価証券	56,652	62,806
繰延税金資産	3,078	5,321
退職給付に係る資産	14,912	15,329
その他	13,520	14,970
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	88,137	98,401
固定資産合計	418,205	458,181
資産合計	813,831	848,907

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,239	68,642
短期借入金	35,899	22,307
1 年内償還予定の社債	20,000	20,000
1 年内返済予定の長期借入金	16,999	16,677
未払法人税等	11,273	4,153
修繕引当金	4,603	1,882
その他	60,339	65,190
流動負債合計	210,353	198,854
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	138,021	158,864
繰延税金負債	11,048	14,339
修繕引当金	122	609
退職給付に係る負債	2,831	2,788
資産除去債務	1,205	1,243
その他	5,212	7,998
固定負債合計	228,440	255,842
負債合計	438,794	454,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	0	0
利益剰余金	253,721	250,840
自己株式	△16,171	△1,973
株主資本合計	273,826	285,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,490	32,244
繰延ヘッジ損益	△14	△10
為替換算調整勘定	51,052	54,951
退職給付に係る調整累計額	7,629	7,235
その他の包括利益累計額合計	86,158	94,420
非支配株主持分	15,052	14,646
純資産合計	375,037	394,210
負債純資産合計	813,831	848,907

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	289,688	277,119
売上原価	205,685	205,058
売上総利益	84,003	72,060
販売費及び一般管理費	52,395	51,939
営業利益	31,607	20,121
営業外収益		
受取利息	626	422
受取配当金	946	1,168
持分法による投資利益	1,407	1,414
その他	866	1,233
営業外収益合計	3,847	4,239
営業外費用		
支払利息	799	1,547
為替差損	1,966	1,606
社債発行費	0	0
和解金	1,200	—
その他	742	834
営業外費用合計	4,708	3,988
経常利益	30,745	20,371
特別利益		
固定資産処分益	15	8
投資有価証券売却益	6,756	5,077
負ののれん発生益	—	512
関係会社株式売却益	4,543	—
補助金収入	—	1,224
特別利益合計	11,315	6,824
特別損失		
固定資産除却損	287	833
段階取得に係る差損	—	179
特別損失合計	287	1,012
税金等調整前中間純利益	41,773	26,183
法人税、住民税及び事業税	12,967	7,894
法人税等調整額	△3,775	△888
法人税等合計	9,192	7,006
中間純利益	32,581	19,176
非支配株主に帰属する中間純利益	527	374
親会社株主に帰属する中間純利益	32,053	18,802

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	32,581	19,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,918	4,754
繰延ヘッジ損益	△2	3
為替換算調整勘定	△5,652	4,214
退職給付に係る調整額	△640	△390
持分法適用会社に対する持分相当額	△284	138
その他の包括利益合計	△8,499	8,721
中間包括利益	24,081	27,898
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	23,873	27,064
非支配株主に係る中間包括利益	208	833

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	41,773	26,183
減価償却費	19,702	20,425
のれん償却額	9	8
修繕引当金の増減額(△は減少)	1,190	△2,233
受取利息及び受取配当金	△1,572	△1,590
支払利息	799	1,547
持分法による投資損益(△は益)	△1,407	△1,414
固定資産除売却損益(△は益)	271	824
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,756	△5,077
関係会社株式売却損益(△は益)	△4,543	—
売上債権の増減額(△は増加)	11,318	12,866
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,022	△5,736
仕入債務の増減額(△は減少)	3,432	5,574
負ののれん発生益	—	△512
段階取得に係る差損益(△は益)	—	179
補助金収入	—	△1,224
その他	△895	△2,538
小計	58,299	47,280
利息及び配当金の受取額	1,783	2,263
利息の支払額	△685	△1,497
法人税等の支払額	△8,651	△15,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,745	32,755
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	4,469	101
有形固定資産の取得による支出	△43,457	△35,429
有形固定資産の売却による収入	59	5,795
無形固定資産の取得による支出	△1,254	△1,304
投資有価証券の取得による支出	△147	△75
投資有価証券の売却及び償還による収入	7,844	5,803
関係会社株式の取得による支出	—	△714
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	3,527	—
その他	△434	△707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,391	△26,530
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,907	△14,256
短期社債の純増減額(△は減少)	△14,000	△0
長期借入れによる収入	22,137	22,856
長期借入金の返済による支出	△6,888	△6,468
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△6,894	△7,950
非支配株主への配当金の支払額	△765	△1,238
リース債務の返済による支出	△725	△778
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,043	△7,835
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,279	1,263
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,968	△347
現金及び現金同等物の期首残高	68,408	64,767
現金及び現金同等物の中間期末残高	64,440	64,419

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(中間連結キャッシュ・フロー計算書)

前中間連結会計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「修繕引当金の増減額(△は減少)」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた1,190百万円は、「修繕引当金の増減額(△は減少)」として組み替えております。

前中間連結会計期間において、独立掲記しておりました「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「貸付けによる支出」及び「貸付金の回収による収入」は、金額的重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「貸付けによる支出」に表示していた△4百万円及び「貸付金の回収による収入」に表示していた502百万円は、「その他」として組み替えております。

前中間連結会計期間において、独立掲記しておりました「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「自己株式の取得による支出」は、金額的重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書において、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「自己株式の取得による支出」に表示していた△0百万円は、「その他」として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	中間 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	メディカル・ヘルスケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニアリングプラスチック	計				
売上高										
外部顧客への売上高	7,185	19,596	47,067	88,464	124,547	286,862	2,826	289,688	—	289,688
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	51	—	6,589	96	6,737	7,110	13,847	△13,847	—
計	7,185	19,647	47,067	95,054	124,644	293,599	9,937	303,536	△13,847	289,688
セグメント利益	189	215	1,313	14,343	15,201	31,263	344	31,607	—	31,607

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	中間 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	メディカル・ヘルスケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニアリングプラスチック	計				
売上高										
外部顧客への売上高	7,634	18,171	49,723	77,166	121,915	274,610	2,508	277,119	—	277,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	67	—	5,889	106	6,064	7,318	13,382	△13,382	—
計	7,634	18,239	49,723	83,056	122,022	280,674	9,827	290,501	△13,382	277,119
セグメント利益	208	404	2,663	4,974	11,470	19,720	400	20,121	—	20,121

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。